

科 目 名	情報と職業				
配 当 学 年	4 年	必修・選択	選択	CAP制	対象
授 業 の 種 類	講義	単 位 数	2 単 位	授業回数	15
授 業 担 当 者	石田 雪也		単位認定責任者	石田 雪也	
実務経験の有無	有				
実務経験のある教員名および授業の関連内容	企業での情報システム・学修 WEB コンテンツ開発業務の経験を活かし、その経験を活用した授業を展開している。				
授業科目の概要	情報産業の進展に伴い、生活、産業が大きく変化している。本講義では、情報産業の進展について、産業別にビジネス環境がどのように変化したかについて、技術的な面だけでなく社会的な側面について学ぶ。なお、授業では、反転学習を導入し、積極的に学生同士の議論を積極的に取り入れる。				
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報産業の進展に伴う課題についての自分の意見を説明できる。</li> <li>2. 教育での新たなICT活用案をグループワークを通じて検討し、説明できる。</li> <li>3. 日本でのIoTの進展について説明できる。</li> <li>4. Eコマース上での付加価値の検討を行い、説明できる。</li> <li>5. 情報化社会で求められる人材について自分のキャリアに合わせて説明できる。</li> </ol>				
学修成果評価項目 (%) および評価方法	項目	割合	評価方法		
	基礎学力	%			
	専門知識	20 %	レポート		
	倫理観	%			
	主体性	50 %	授業時課題		
	論理性	10 %	レポート		
	国際感覚	%			
	協調性	10 %	グループワーク		
	創造力	10 %	レポート		
	責任感	%			
授業の展開					
1.	情報と職業・目標設定				
2.	ICT・IoTの広がり和生活の変化				
3.	情報産業の進展～第一次産業～（グループワーク）				
4.	I 情報産業の進展～行政と教育（初等中等教育）～（グループワーク）				
5.	情報産業の進展～教育（高等教育）～（グループワーク）				
6.	ICTを活用した新たな教育手法の検討（グループワーク）				
7.	ICTを活用した新たな教育手法の検討（発表）				
8.	ICTを活用した新たな教育手法の検討（質疑応答）				
9.	大学での学びを活用した技術				
10.	グループワーク				
11.	グループワークの発表				
12.	生活環境での情報通信技術（グループワーク）				
13.	Eコマースの検討～商品の付加価値～				
14.	グループワーク（Eコマース）				
15.	情報産業の進展と Society5.0 時代に求められる人材（レポート課題）				
授 業 外 学 修 について	授業外学習として、反転学習を導入し、適宜レポート、課題を出す。（授業時にディスカッション、発表等を行う）				

教科書	特になし。適宜指示する。				
参考文献	「情報と職業」近藤勲著 その他授業時に適宜紹介する				
試験等の実施	定期試験	その他のテスト	課題・レポート	発表・プレゼンテーション	取組状況等
	×	×	○	×	○
成績評価の割合	0 %	0 %	30 %	0 %	70 %
成績評価の基準	<p>本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。</p> <p>秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69点～60点）、不可（59点～0点）</p>				
試験等の実施、成績評価の基準に関する補足事項	<p>定期試験は行わない。授業の取り組み状況を70%、レポート課題30%で評価を行う。成績評価の詳細は、初回授業時に説明する。主体性・協調性（グループワーク）を強く意識した授業である点を履修時に考慮すること。</p> <p>授業への出席が10回未満の場合、単位を認定しない。</p>				

(情報と職業)